

製品安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	懸濁試薬
製品コード	PR-1050
SDS整理番号	PR1050_JP_1.1
会社名	倉敷紡績株式会社
住所	〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-30 クラボウ先進技術センター2F
担当部門	環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部
電話番号	072-820-3079
FAX番号	072-820-3095
緊急時連絡電話番号	バイオメディカル部 072-820-3079
推奨用途及び使用上の制限	核酸自動分離装置用試薬、研究専用

2. 危険有害性の要約

GHS分類	GHS分類区分に該当せず
GHSラベル要素	
絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 混合物

成分名	濃度又は濃度範囲 (wt.%) *	CAS番号	化審法番号
トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン	0 - 1	77-86-1	2-318
EDTA2Na	0 - 2	6381-92-6	2-1265
D-ブドウ糖	0 - 1	50-99-7	8-46

*これらの値は、製品規格値ではありません。

危險有害成分

毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後 も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤	初期消火には炭酸ガス、粉末消火剤、泡消火器等を使用する。
使ってはならない消火剤	なし
特有の消火方法	消火作業は、可能な限り風上から行う。漏出した物質や消火用水等が河川等に排出されないように配慮する。関係者以外は速やかに安全な場所に退去させる。
消火を行う者の保護	消火作業では、適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
封じ込め及び浄化方法・機材	不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。
	回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策 局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項 衛生対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、適切な保護具を着用すること。 適切な換気がされている場合のみ使用する 「10. 安定性及び反応性」の項参照。 取扱う時に飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	安全な保管条件	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 涼しいところに置き、日光から遮断すること。

8. ばく露防止及び保護措置		
許容濃度、管理濃度（職業ばく露限界値、生物学的ばく露指標）		
管理濃度データなし 日本産衛学会関連許容濃度データなし ACGIH 許容濃度データなし		
設備対策		排気/換気設備を設ける。 洗眼設備を設ける。 手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具	呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。 保護手袋を着用する。推奨材質:非浸透性もしくは耐化学品ゴム 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。 保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質		
当該化学品および成分の物理化学的性質		
物理的状态	形状	液体
	色	無色透明
臭い		無臭
pH		8.0
融点・凝固点		情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲		情報なし
引火点		適用外(不燃性)
蒸発速度(酢酸ブチル＝1)		情報なし
燃焼性(固体、ガス)		情報なし
蒸気圧		情報なし
蒸気密度(空気＝1)		情報なし
比重(密度)		情報なし
溶解度		水:可溶
n-オクタノール・水分配係数		情報なし
自然発火温度		情報なし
分解温度		情報なし
粘度(粘性率)		情報なし

10. 安定性及び反応性		
反応性および化学的安定性		通常の手扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性		データなし
避けるべき条件		凍結。直射日光を避ける。
混触危険物質		データなし

11. 有害性情報		
混合物としての有害性情報		
急性毒性		データなし
局所効果		データなし
感作性		データなし
生殖細胞変異原性		データなし
発がん性		データなし
催奇形性		データなし
生殖毒性		データなし
特定標的臓器毒性(単回/反復 ばく露)		データなし
吸引性呼吸器有害性		データなし

12. 環境影響情報		
混合物としての環境影響情報		
生態毒性	水生毒性: データなし	
水溶解度	(D-ブドウ糖) 溶ける (ICSC, 1998)	
残留性・分解性	データなし	
生体蓄積性	(D-ブドウ糖) log Pow=-3.3 (ICSC, 1998)	
土壤中の移動性	データなし	
オゾン層破壊物質	データなし	
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物・汚染容器及び包装	環境への放出を避けること。 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。	
14. 輸送上の注意		
国際規則		
国連分類	該当しない	
国連番号	該当しない	
国内規制		
海上規制情報		
船舶安全法	該当しない	
航空規制情報		
航空法	該当しない	
陸上規制情報		
消防法	該当しない	
毒物および劇物取締法	該当しない	
15. 適用法令		
化審法	該当しない	
労働安全衛生法	該当しない	
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	該当しない	
毒物および劇物取締法	該当しない	
消防法	該当しない	
船舶安全法	該当しない	
航空法	該当しない	
海洋汚染防止法	該当しない	
16. その他の情報		
参考文献、URL	Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 19th edit., 2015 UN Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012) 2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT) 2016 TLVs and BEIs. (ACGIH) http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php JIS Z 7253 (2012年) JIS Z 7252 (2014年) 2015 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会) Supplier's data/information GESTIS-Stoffdatenbank Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)	
改訂履歴	作成	2003年10月28日
	改訂	2019年11月12日
記載内容の問合せ先	倉敷紡績株式会社 環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部	

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。